

6. 2023 年度 一般社団法人日本防護服協議会 研修会報告

一般社団法人日本防護服協議会では下記のとおり研修会を実施しました。

日 時 2023 年 11 月 9 日(木)、10 日(金)

見学先 1)理化学研究所 放射光科学研究センター
SPring-8、SACLA(兵庫県佐用郡)
2)旭化成株式会社 水島製造所(岡山県倉敷市)

参加者 会社名・氏名(順不同、敬称略)

所属名	氏名
旭化成アドバンス株式会社	福田 幹人
旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社	深須 憲哉
旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社	中島 和幸
アゼアス株式会社	鈴木 一裕
アゼアス株式会社	磯田 実
アゼアス株式会社	岩崎 亮太郎
アゼアス株式会社	大畠 卓真
株式会社重松製作所	鈴木 貴昌
国立大学法人信州大学繊維学部	篠原 克明
帝人株式会社	岡村 脩平
ミドリ安全株式会社	石井 良和
山本光学株式会社	山本 剛士
山本光学株式会社	澤野 倫宣
	稲井 巡

以上 8 社 14 名

見学スケジュール

1 日目 2023 年 11 月 9 日(木)

- 12:30 姫路駅南口観光バス乗降場 集合
- 13:30 理化学研究所放射光科学研究センター到着
 - | SPring-8、SACLA の見学
 - | ・ SPring-8 及び SACLA の施設ガイダンス
 - | ・ 同上施設の見学
- 15:00 見学終了 倉敷までバス移動

17:00 宿泊先到着後懇親会

2日目 2023年11月10日(金)

09:00 宿泊地出発

10:00 旭化成株式会社 水島製造所 到着

| ・ 会社概要、事業所取組ガイダンス

| ・ 構内の見学

11:00 旭化成株式会社 水島製造所 見学終了 倉敷に向け出発

11:40 倉敷駅着 解散

見学内容

1) 理化学研究所 放射光科学研究センター

Spring-8、SACLA

兵庫県佐用郡 播磨科学公園都市に立地。

理化学研究所 放射光科学研究センターは、世界最高性能の放射光を生み出すことができる大型放射光施設 SPring-8 と X 線自由電子レーザー施設 SACLA の研究、開発、運営をしております。同施設は国内外の産学官の研究者等に開かれた共同利用施設で、放射光を大学、公的研究機関や企業等のユーザーに提供し、課題申請などの手続きを行い、採択されれば、誰でも利用することができます。施設運営については施設者である国立研究開発法人理化学研究所(理研)、利用者選定業務及び利用者支援業務は公益財団法人高輝度光科学研究センターが行っています。

・放射光とは、電子を光とほぼ等しい速度まで加速し、磁石によって進行方向を曲げた時に発生する、細く強力な電磁波のことで、SPring-8 では、この放射光を用いてナノテクノロジー、バイオテクノロジーや産業利用まで幅広い研究がおこなわれている。

・SACLA は SPring-8 レベルの X 線では原子や分子の瞬間的な動きや変化を観測することが不向きであり、その点を解消するため電波強度を高めるためレーザーにして、瞬間的な原子や分子の動きが捉えることを可能とした X 線自由電子レーザー(XFEL)施設。

・施設名称の由来は、SPring-8 は Super Photon ring-8 GeV(80 億電子ボルト)、SACLA は SPring-8 Angstrom Compact Free Electron Laser。

今回の見学はセンター内放射光普及棟にて施設概要、放射光及び活用事例について説明を受けたのち、実際の試験施設の見学で SACLA 実験研究棟の見学者通路からの試験室、SPring-8 については蓄積リング棟内部の研究室エリアでの見学をおこなった。

2) 旭化成株式会社 水島製造所

岡山県倉敷市の水島コンビナートの B 地区と C 地区に合計敷地面積 140 万平米で立地

同社到着後、講堂にて水島総務部 総務グループ津崎様より、会社及び事業所概要、同事業所がスチレンモノマー、アクリロニトリル、シクロヘキサノールなどの基礎化学原料の製造をしている工場である事などについての説明を受け、続けて製造所における防災体制についてご担当者様より説明があった。

・環境安全部 安全グループ長 小野様

水島製造所における保安防災について、高圧ガス特定認定(スーパー認定)取得に向けた防護階層解析、プロセスハザードベース型訓練、第三者の知見活用等の具体的取り組み事例や、化学物資の取り扱いにおけるリスクアセスメントとして実施している爆発火災対応、防護服等の保護具の活用、水島コンビナート地区保安防災協議会等々の取り組みについて説明があった。

・企画管理部 企画管理グループ主査 緒方様

水島製造所におけるデジタル技術を活用した配管の保温材下の外面腐食の予想モデルの高度化、有毒ガス漏洩時の避難支援システムについての説明があった。

・環境安全部 防災グループ長 柏木様

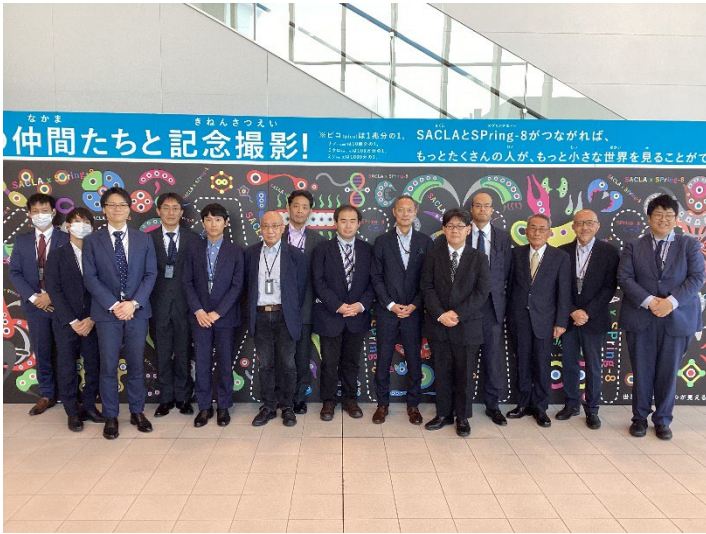
水島製造所の防災体制について説明があった。具体的には、事業所内の防災体制の構築の他、水島コンビナート地区の近隣企業27企業が加盟する「水島コンビナート地区保安防災協議会」に加盟し、災害発生時に共同防災隊として防災活動を行う事や、水島コンビナート地区の近隣企業60企業が加盟する「水島港湾災害対策協議会」に加盟し海上災害の対応を行う事の説明があった。

事業所や各種取組についてのご講演の後、バス乗車のうえ B 地区と C 地区にある同社事業所のうち B 地区構内の見学を実施した。

旭化成(株)水島製造所は一般への見学を受け付けており、通常の見学では事業所説明のみ実施しているが、今回ご講演いただいた防災に関する取り組み内容については通常の見学では実施しておらず、会員会社の旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ(株)のご厚意により講演傍聴が実現できたことを改めて深く感謝する。

今回の見学会はこの数年間の新型コロナウイルス感染症蔓延により開催中止としていたが、同感染症の脅威が少なくなり、久しぶりの遠方での研修会開催が無事開催でき、有意義な見学会が実施することができた。

以上
(文責 鈴木 一裕)



理化学研究所 放射光科学研究センター SAKULAにて



旭化成株式会社 水島製造所にて